

整形外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「骨肉腫新規治療法開発のための創薬シーズ探索研究」への協力のお願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011 年 1 月 1 日～2024 年 7 月 31 日の間に、当科及び名古屋大学医学部附属病院整形外科において、骨肉腫に対する治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：これまでにヒト骨肉腫の治療を実施した症例には、術前化学療法無効症例と有効症例が存在しました。なぜ化学療法が効果が無いのか、その原因の遺伝子を同定して新しい骨肉腫治療法を開発するため、化学療法無効症例と有効症例それぞれの症例で診断時生検標本及び手術摘出標本より作成した病理組織標本を精査し、発現している遺伝子の差異を詳細に解析します。

研究に用いる試料・情報の項目：カルテより化学療法の効果の有無を確認し、生検時および手術時の病理標本を用いて遺伝子変異及び発現遺伝子の相違を検討します。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024 年 10 月 4 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 整形外科

氏名：秋山治彦

名古屋大学医学部附属病院 整形外科

氏名：今釜 史郎

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 整形外科

電話番号：058-230-6333

氏名：永野昭仁

名古屋大学医学部附属病院 整形外科

電話番号：052-741-2111

氏名：生田 国大

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp